

NHK アイテックとエイビットが
IP 伝送による SFN を可能としたエリアワンセグシステムを共同開発
～ホワイトスペースの活用に貢献～

株式会社 NHK アイテック（東京都渋谷区、中西義明社長）と株式会社エイビット（東京都八王子市、檜山竹生代表取締役）は、IP 伝送による SFN を可能とした多チャンネル送信対応のエリアワンセグシステム（ACS-4000システム）を共同で開発しました。

エリアワンセグ放送は、エリア限定の地域コミュニティ・メディアや災害、防災、被災地情報の提供などアナログテレビ放送終了後のホワイトスペースの活用に向けて野外イベントや地域の活性化を目指したサービス実験など、各地で様々な試みが行われています。

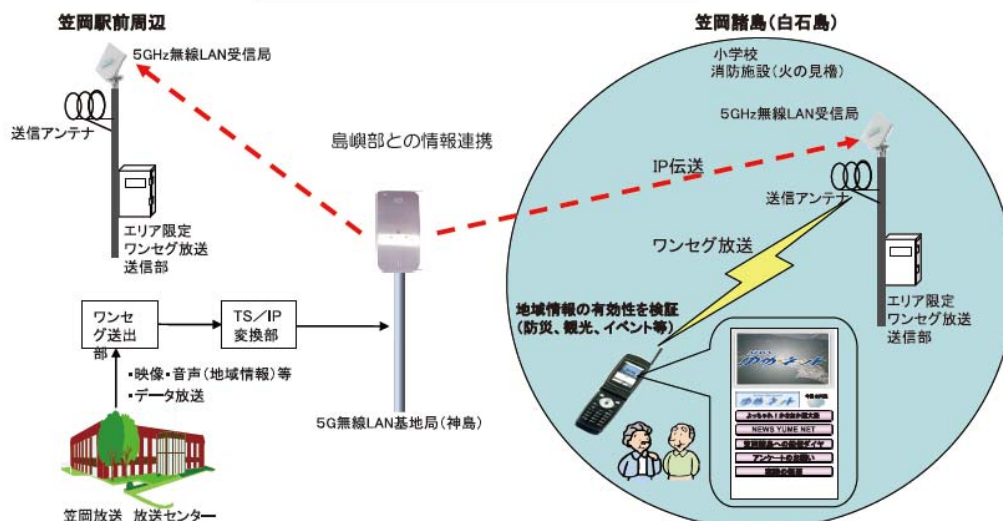
ACS-4000システムでは、GPS を使い、IP 方式によるワンセグコンテンツの伝送により単一周波数での放送エリアを構成する SFN を実現しました。これにより、複数の送信点からの情報提供とともに電波の効率的な使用が可能となります。

NHK アイテックでは、ACS-4000システムを使用し、IP 伝送による複数地点からのエリアワンセグ放送の有効性を検証するため、岡山県笠岡市のケーブルテレビ局、笠岡放送株式会社（枝木恭平社長）と共同で、笠岡放送の高速5GHz 無線 LAN システムを活用したワンセグ放送の伝送実験を、離島環境から地域情報伝達に悩む笠岡諸島を中心に行いました。

NHK アイテックとエイビットでは、5GHz 無線 LAN や既存の IP 伝送システムを使う事により、災害時の迅速な情報提供やイベント会場、大学構内など比較的、広い放送地域が必要となるエリアワンセグ放送への活用を目指しています。

高速5GHz無線LANを活用した
ワンセグ放送コンテンツの伝送実験

実験システムイメージ



IP-SFN 対応エリアワンセグシステム

ACS-4000

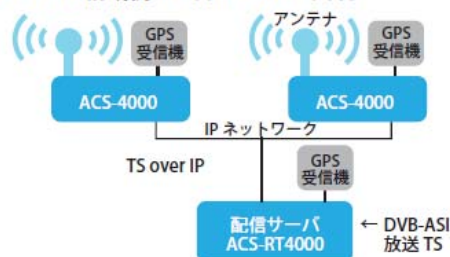
ACS-4000 は OFDM 技術と小型化技術により、低コストと高信頼性を両立したラックマウント型「エリアワンセグシステム」です。変調器はチャンネル単位のプラグイン方式であるため、必要なチャンネル数まで増設可能です。(最大12チャンネル)



特徴

- ISDB-T 放送 TS フォーマット対応
- LAN インタフェースによる IP 接続
- GPS を用いて SFN に対応
- RTP、ユニ / マルチキャスト対応
- 各モジュールは活線挿抜に対応
- 電源はホットスタンバイ方式による冗長構成

システム構成例：2 台で SFN を実現



関連製品

ACS-RT4000 : ACS-4000 用配信サーバ (19 インチ, 4U サイズ)
DVB-ASI 入力 (最大 12 チャンネル)
TS Over IP 出力の TS 配信サーバ
RTP、ユニ / マルチキャスト対応
高精度リファレンスクロック用 GPS インターフェース (オプション)

ACS-CB4000 : コンバイナー (19 インチ, 2U サイズ)
RF12 入力, 1 出力コンバイナ

ACS-3100 : IP 対応ワンセグ地上デジタル変調器 (1U ハーフサイズ)
RTP および、ユニ / マルチキャスト対応
GPS インターフェース内蔵 SFN 対応 (オプション)

なお、2010年11月17日～19日に幕張メッセで開催される「Inter BEE 2010」の「総務省ホワイトスペース推進会議」ブースにおいてパネル紹介をする予定です。

【問合せ先】

(株)NHKアイテック 営業本部 大島 (Tel:03-5456-4731 tuto-ohsima@nhkitech.co.jp)

(株)エイビット プロダクト企画部 平井 (Tel:042-627-1900 hirai@abit.co.jp)